演習 II

科目ナンバリング　SEM-302
必修　　2単位

1. 授業の概要（ねらい）

世界の交流人口は大幅に増加を続ける一方、我が国においても、インバウンド（訪日外国人旅行）の著しい伸長、OTA（オンライン・トラベルエージェント）の台頭、民泊法制化など、旅行産業を取り巻く環境は目まぐるしい変化を遂げてきた。昨年は新型コロナウイルスにより、観光業界全体が壊滅的な打撃を受け、業界の構造そのものが変わろうとしているが、人の旅に対する欲求は変わるものではない。

この演習では、「ツーリズム産業の深掘り」という主題の下、旅行産業および関連する観光分野におけるテーマをグループごとに抽出し、調査・検討した成果を発表し合うことにより、課題解決に向けた能力を向上させることを目指す。そのためには、次の点が重要となる。

・解決が必要な課題をどのように抽出するか
・課題に関する情報や資料をどのように収集するか
・課題をどのように整理してまとめ、説得力ある説明を行うか

国際政治から企業活動に至るまで、そこで行われている課題解決に向けた取り組みの多くは、上記のプロセスの繰り返しである。したがって、この演習を通じ、問題点を見つける力、論理を構成する力、発表する力、議論する力を身につける。

また毎回の授業では、業界の最新情報を共有するとともに、必要に応じて関係する企業・団体等を訪問してキャリアパスにつなげる。

2. 授業の到達目標

課題抽出、仮説設定、自分の意見を発表、他者と議論という一連のプロセスを身につけることを目標とする。グループごとに深掘りしたテーマは、研究報告書としてまとめ、冊子にする。

3. 成績評価の方法および基準

研究報告書の完成度合い（70%）および演習への参画態度・取り組み姿勢（30%）で評価する。出席状況が悪い場合は減点とする。

4. 教科書・参考文献

教科書

なし

参考文献

各グループが研究テーマに則した文献を自分たちで選定する。その他資料は、適宜席上配布するなりEメールで配信する。

5. 準備学修の内容

報道されている旅行・観光に関するニュース（特に観光庁の政策や業界動向）に、絶えず興味を持って接してほしい。そしてあくなき好奇心を
持って、疑問に思ったことはすぐ調べる姿勢で臨むこと。また、研究テーマに即した文献は月に1冊は読むようにしてほしい。

グループワークでは、各人に割り当てられた役割の進捗状況を毎回グループ内で話し合い、全体の位置づけを確認しながら進めること。

6. その他履修上の注意事項

積極的かつ建設的に議論に参画してほしい。話す技術の向上を目指すのも勿論だが、聴く技術・聴く姿勢の向上も期待する。

7. 授業内容

【第1回】　イントロダクション＆夏休みのエポックメイキング体験発表プレゼン実習
【第2回】　グループワーク：研究テーマの深掘り（1）
【第3回】　グループワーク：研究テーマの深掘り（2）
【第4回】　（オンライン）：報告書としての文章落とし込み
【第5回】　グループワーク：研究テーマの最終仮仕上げ
【第6回】　研究テーマの最終仮仕上げ案発表
【第7回】　グループワーク：報告書ドラフト作成
【第8回】　グループワーク：報告書ドラフト完成
【第9回】　研究テーマの成果発表と討論（1）
【第10回】　研究テーマの成果発表と討論（2）
【第11回】　報告書の最終仕上げ（1）
【第12回】　報告書の最終仕上げ（2）
【第13回】　報告書一次校正
【第14回】　報告書二次校正
【第15回】　まとめ